

科目ナンバー： BC1011

授業コード： 2230100100

講義科目名称： 看護学概論

英文科目名称： Introduction to Fundamental Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員			
◎岡村典子、川島良子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】 ◎岡村 典子 cn.ac.jp	【所属】 新潟県立看護大学	【研究室】 216	【メールアドレス】 norio@niigata-
	川島 良子 cn.ac.jp	新潟県立看護大学	206	kawasima@niigata-
	実務経験のある教員が担当します。			
	【本学の科目区分】 専門科目			
	【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程			
	【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ○ ◎			

到達目標	1. 看護、及び看護学とは何かについて説明できる 2. 看護における主要概念、及び看護の専門性について理解できる 3. 看護の対象について理解できる 4. 看護の歴史や職業的發展、及び看護に関する諸制度について理解できる 5. 看護における倫理、看護業務に関する情報について理解できる 6. 看護活動の場と看護職の役割・機能について理解できる 7. 看護の理論家について学ぶとともに、看護について考察できる			
授業概要	「看護とは何か」を踏まえて、看護の基盤となる主要概念について学び、看護の対象となる生活者としての人間について理解する。また、看護の専門性と専門職としての役割・機能について学ぶとともに、看護に関する諸制度、倫理についても理解する。さらに、看護理論に触れることで看護について考察し、自身の看護観の基盤を築く。			
授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護、看護学の理解 学修内容：看護、看護学とは 事前学修：「看護とはなにか」について、今の自分の考えを記述しておく。 事後学修：授業内容を振り返り、改めて「看護とはなにか」について自分の考えを記述し、事前の記述内容との相違を確認する。そのうえで、さらに深めたい課題を明らかにし、その課題に取り組む。 備考：岡村		
	2	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護とは何かを考える (1) -① 学修内容：看護における主要概念の理解 (人間、健康、環境) ケアとは 事前学修：第1回目にて提示した必携図書の個所を読み、分からない点を記述し明確にしておく。 事後学修：健康状態を把握するうえで重要となる用語、統計データの見方を理解する。 備考：岡村		
	3	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護とは何かを考える (1) -② 学修内容：看護における主要概念の理解 (人間、健康、環境) ケアとは 事前学修：第2回目にて配布された資料を読み、ケアについて考えたことを記述する。 事後学修：授業にて提示した必携図書の個所、及び文献を読み、改めてケアについて自分の考えを記述し、事前学修の記述内容との相違を確認する。 備考：岡村		

4	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護とは何かを考える（2） 学修内容：看護の専門性と看護実践（看護技術） 看護実践（看護技術）適用の原則とアセスメント 事前学修：専門職とは、どのようなことを指すのか調べ、記述しておく。 事後学修：看護技術を身につけるために必要なことは何か、自分の考えをまとめ記述する。 備考：岡村
5	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護の対象についての理解（1） 学修内容：看護の対象としての理解 人間の特性とその理解 事前学修：必携図書（系統看護学講座 看護学概論 第2章）を通読する。 事後学修：講義資料を復習する。 備考：川島
6	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護の対象についての理解（2） 学修内容：生活者としての人間 健康と生活 事前学修：必携図書（系統看護学講座 看護学概論 第2章）を通読する。 事後学修：講義資料を復習する。 備考：川島
7	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護職の職業的発展、法的根拠① 学修内容：職業としての看護 保健師助産師看護師法、及びそれに関わる諸制度 看護職の養成制度 事前学修：必携図書や資料を参考に、看護の歴史の概要についてまとめる。 事後学修：授業の内容を踏まえ、事前学修にて取り組んだ看護の歴史の概要について再度振り返る。 備考：岡村
8	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護職の職業的発展、法的根拠② 学修内容：職業としての看護 保健師助産師看護師法、及びそれに関わる諸規定 看護職の養成制度 事前学修：看護に関する諸制度について調べ、まとめる。 事後学修：保健師助産師看護師法を読み、概要についてまとめる。 備考：岡村
9	授業内容 授業形態：講義 学修課題①：看護における倫理 学修内容①：基本的人権、倫理原則、職業倫理 対象の人権尊重と権利擁護 学修課題②：看護業務に関する情報 学修内容②：情報の種類 情報の記録・報告・共有 事前学修：既習の内容を踏まえ、倫理に関する自分の考えをまとめる。 事後学修：授業の内容を踏まえ、事前学修にてまとめた自分の考えを再度振り返る。 備考：岡村
10	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護活動（機能・役割） 学修内容：看護活動の場と看護職の役割・機能（災害時の対応） 医療事故と起こる要因、医療事故の法的責任、医療事故防止対策 看護における連携と協働 保健・医療・福祉の連携と継続看護 事前学修：看護職が活動する場について調べ、まとめる。 事後学修：医療事故を防ぐための対策について、自分の考えをまとめる。 備考：岡村
11	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護理論 学修内容：看護理論とは 看護理論の機能、範囲 事前学修：第10回目に提示した必携図書の個所を読み、看護理論について分からない点を明確にしておく。 事後学修：看護理論とは、について授業を振り返るとともに資料等も参考にしまとめる。 備考：岡村
12	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護理論家の理解① 学修内容：ナイチンゲール 事前学修：ナイチンゲール看護覚え書の指定ページを読み、自分の理解をまとめる。 事後学修：ナイチンゲール看護覚え書から、看護について考察する。 備考：岡村
13	授業内容

	授業形態：講義 学修課題：看護理論家の理解② 学修内容：ヘンダーソン 事前学修：ヘンダーソン看護論の目次に目を通しておく。 事後学修：ヘンダーソン看護論を読んでおく。 備考：川島 14 授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護理論家の理解③ 学修内容：ペプロウ 事前学修：ペプロウの人間関係の看護理論について、必携図書の該当個所を読み、自分の理解をまとめる。 事後学修：ペプロウの人間関係の看護理論から、看護について考察する。 備考：岡村 15 授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護理論家の理解④ 学修内容：オレム 事前学修：オレムのセルフケア理論について、必携図書の該当個所を読み、自分の理解をまとめる。 事後学修：改めて「看護理論とは」について考えるとともに、興味のある看護理論家の看護についてまとめる。 備考：岡村
評価方法、評価基準	到達目標に対し、期末試験及び課題にて下記のように評価する。 到達目標1～7について、期末試験にて、目標達成度を最終的に評価する（80％）。 到達目標7について、課題を提示する。課題内容は講義時に説明する（20％）。
必携図書	茂野香おる他著：系統看護学講座専門分野Ⅰ 看護学概論，医学書院。 筒井真優美編：看護理論 看護理論21の理解と実践への応用，改訂第3版，南江堂。 Virginia Henderson 湯槇ます他訳：看護の基本となるもの，日本看護協会出版会。
参考図書・資料等	Florence Nightingale 薄井坦子他編：看護覚え書，現代社。 Hildegard E. Peplau 稲田八重子他訳：ペプロウ人間関係の看護論，医学書院。 Dorothea E. Orem 小野寺杜紀訳：オレム看護論 第4版，医学書院。 Milton Mayeroff 田村真他訳：ケアの本質 生きることの意味，ゆみる出版。
受講、課題、資料配布等のルール	授業は時間の中で順序立てて進めていくため、20分を超える遅刻や途中退出は欠席とみなし、遅刻3回で1時限分の欠席とする。なお、出席日数が規定に満たない学生は試験を受けることはできない。 学習課題の順番は変更する場合がある。
教員からのメッセージ	看護学に関する先人の知恵、基本的な考え方を学びます。自らの課題を見つけて取り組み、看護観（看護に対する考え）を育んでいきましょう。
オフィスアワー	時間があえばいつでも